

街路樹

「相似形」としての学びに向けて

2

誰もが自分らしく活躍できる社会の実現に向けて

研修調査室では、教職員の「主体的・対話的で深い学び」（子どもの学びと相似形）に寄与できるよう、令和7年度研修の方法・内容の見直しを図りました。効果的に「対話」の機会を設定するとともに、専門の講師陣による研修も充実させました。ぜひ、「主体的に」研修に参加していただき、「深く」学んでいただきたいと思います。一部を紹介します。

1 基本研修の精選と改善

- (1) 教職2年次研修における校外研修の追加
初任研の校内研修を100時間に削減したことに伴い、校外研修を2日選択できるようにしました。
- (2) 経験者研修Ⅱにおけるマネジメント能力の育成カリキュラム・マネジメント講座を選択必修研修として位置付けます。

2 職能研修の精選と改善

- (1) 研修主任研修
校内研修の活性化を図るため全校悉皆とし、大妻女子大学教授 澤井陽介先生から「校内研究のつくり方」について学びます。
- (2) 生徒指導主事研修（オンライン形式）
県教育委員会と共催し、生徒指導提要进行を執筆された関西外国語大学教授 新井肇先生から、最先端のいじめ・不登校対策などについて学びます。

3 各種の指導力の向上を図る専門研修の充実

- (1) 学級づくり講座
「ほめ言葉のシャワー」で有名な菊池省三先生を再びお呼びし、飛び込み授業及び講義を行います。
- (2) 働き方改革講座（ハイブリッド形式）
東北大学大学院教育学研究科 教授 青木栄一先生から、働き方改革への組織的な方策について学びます。その他の内容や詳細については、令和7年度の「研修の手引き」や「研修計画」をご覧ください。

いわき市における、義務教育段階の教育相談件数、不登校児童生徒数は増加傾向にあります。また家庭環境に目を向けると、経済的な困窮を起因とする課題が、より多様化・複雑化している傾向が見られます。

課題の改善・解決は、個々別々の努力だけでは困難であり、一朝一夕で成し遂げられるものではありません。学校、保護者の課題について、主訴を明確にしていくと、地域社会全体での連携が必要となるケースが多くあります。居場所づくり、特性に応じた環境づくり、不安や悩みに寄り添うことなど、それぞれの課題について地域社会全体で知恵を出し合うとともに、誰もが自分らしく活躍できるWell-being（個人の多様な幸せと社会全体の幸せ）の実現という目標に向けて協働していくことが求められています。

このような観点から、教育支援室では、次年度は次の2つを重点として、引き続き教育諸課題に取り組みます。

1 地域と協働した相談・支援体制の構築と充実

学校や家庭の相談支援ニーズが引き続き高い状態にある一方で、本市各地区には有用な支援者・事業所等があります。学校の支援体制構築を推進することはもとより、多職種連携によって、児童生徒が学校や地域で生き生きと過ごせる環境を整えます。

2 支援に関わる教育人材の育成

市内小中学校の特別支援学級担任の数は210名を超え、うち今年度初めて担当する教員は50名以上となっています。また、支援員は160名以上の配置となっており、継続した指導者・支援者の養成が課題です。そのため研修調査室と連携した教職員研修に加え、サポート訪問、教育人材育成プログラム会議等により、児童生徒本人の認知行動特性の理解を広めるとともに、本人・保護者の将来を見据え、気持ちに寄り添える人材の育成を推進します。次年度も、引き続き教育支援室をご活用ください。

今年度の研修の感想より

令和6年度は、191の研修・講座を開設し、延べ6,793名の先生方に参加いただきました。研修後の先生方の感想からは、充実した研修だったことが多く伺えました。

以下は、令和6年度に新規開設した研修・講座の感想になります。

【心の教育講座】講師：親子のサポートセンターふくしま 公認心理師 能渡 綾菜

当たり前のことが出来ていることに目を向けて、褒めてあげることや自己肯定感を高めることで生きる力が身につくと思えました。実際に他人の心の中は目に見えませんが、今日の研修は心が見えてくるような感覚でした。

【学級経営講座】講師：菊池道場 道場長 菊池 省三

「教師が学級の空気を作り出す発信源であり受信機である。また、子どもたちは人間関係の鏡である」という話が印象に残りました。2学期からは、もっと意識して子どものよさを見つけ、誉めて認めて励ましていきたいです。

【カウンセリング講座】講師：いわき市こころの支援アドバイザー 榎 絵里加

自己理解を深めた上で生徒に対応することを学べてよかったです。教師同士、生徒同士、教師と生徒で感じ方、考え方、行動の仕方に違いがあり、自分がどのような役割を果たすべきか深く考えさせられました。

【授業実践講座〈小中特活〉】講師：八王子学園なかよし幼稚園 園長 清水 弘美

「子どもが感じた願いを叶えられる学校」や「目に見えるもので具体的に反省して、目に見えない力を育てる」など、先生の言葉一つ一つが心に染み込みました。主体性がない子どもが増えるのは、教師が教えすぎているからで、子どもたちが「やってみたい、～したい」という気持ちを大事に、特別活動だけではなく、各教科でも実践していきたいと感じました。

